2026年10月18日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,521万kW
18時、85,214 MW（10エリア同時刻合計）

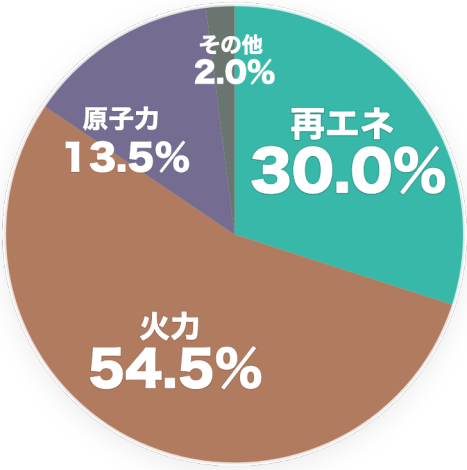
☀ 太陽光ピーク
4,825万kW
11時、48,251 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
237万kW
23時30分、2,368 MW

◇ 再エネ最大需要比
71.4%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
98.4 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
72.0 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 46.0%

32.3 GWh

出力抑制量

15.0 GWh

最大: 九州 4.8 GWh

揚水・蓄電の充電

85.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:00に2,757万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで46.0%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.0%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**554 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,848 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**71.4%**	11時
出力抑制量	**15.0 GWh**	最大: 九州
揚水・蓄電の充電	**85.2 GWh**	発電構成比には含めない

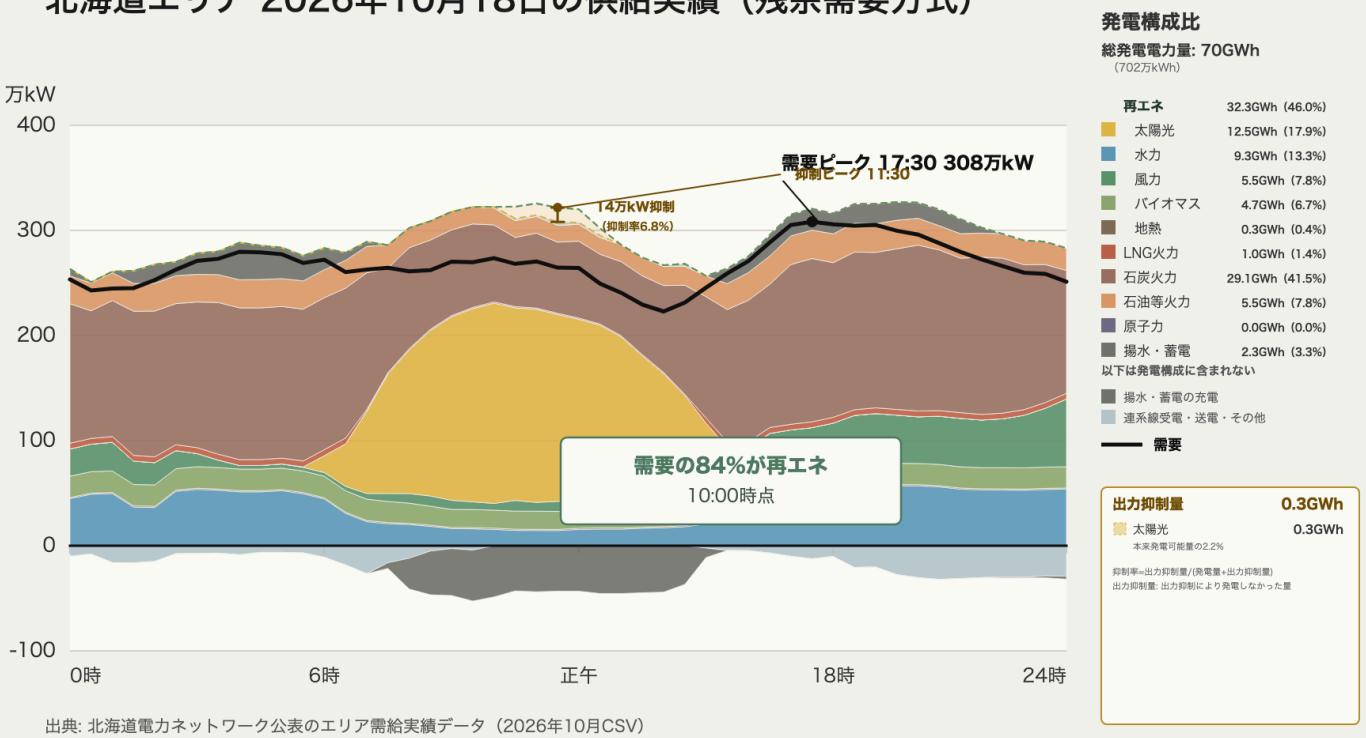
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**46.0%**	**32.3**	**0.3**	**送電 2.8**
東北	**40.8%**	**99.1**	**3.2**	**送電 72.0**
東京	**25.7%**	**129**	**1.8**	**受電 98.4**
中部	**38.7%**	**93.2**	**0.6**	**受電 22.5**
北陸	**39.9%**	**20.8**	**0.0**	**受電 1.1**
関西	**20.0%**	**54.8**	**0.0**	**受電 26.3**
中国	**21.7%**	**30.2**	**4.3**	**送電 7.9**
四国	**25.1%**	**21.2**	**0.0**	**送電 32.6**
九州	**32.5%**	**70.1**	**4.8**	**送電 16.1**
沖縄	**11.1%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年10月18日の供給実績

北海道エリア

再エネ
32.3GWh
（発電電力量ベース46.0%）

北海道エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
70.2GWh

需要ピーク
17:30、308万kW

連系線・その他
2.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.1GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

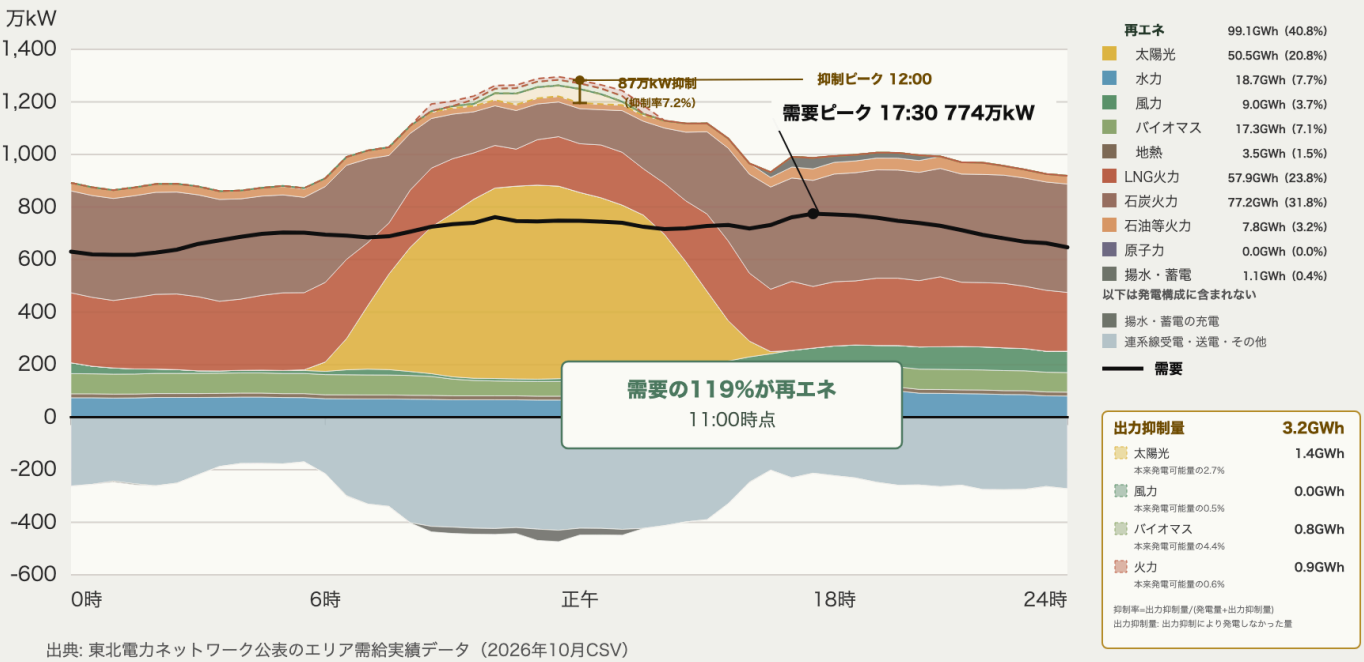
北海道は、太陽光ピーク191万kW、風力ピーク64万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.5%だった。

2026年10月18日の供給実績

東北エリア

再エネ
99.1GWh
（発電電力量ベース40.8%）

東北エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
243.1GWh

需要ピーク
17:30、774万kW

連系線・その他
72.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
3.2GWh

概況

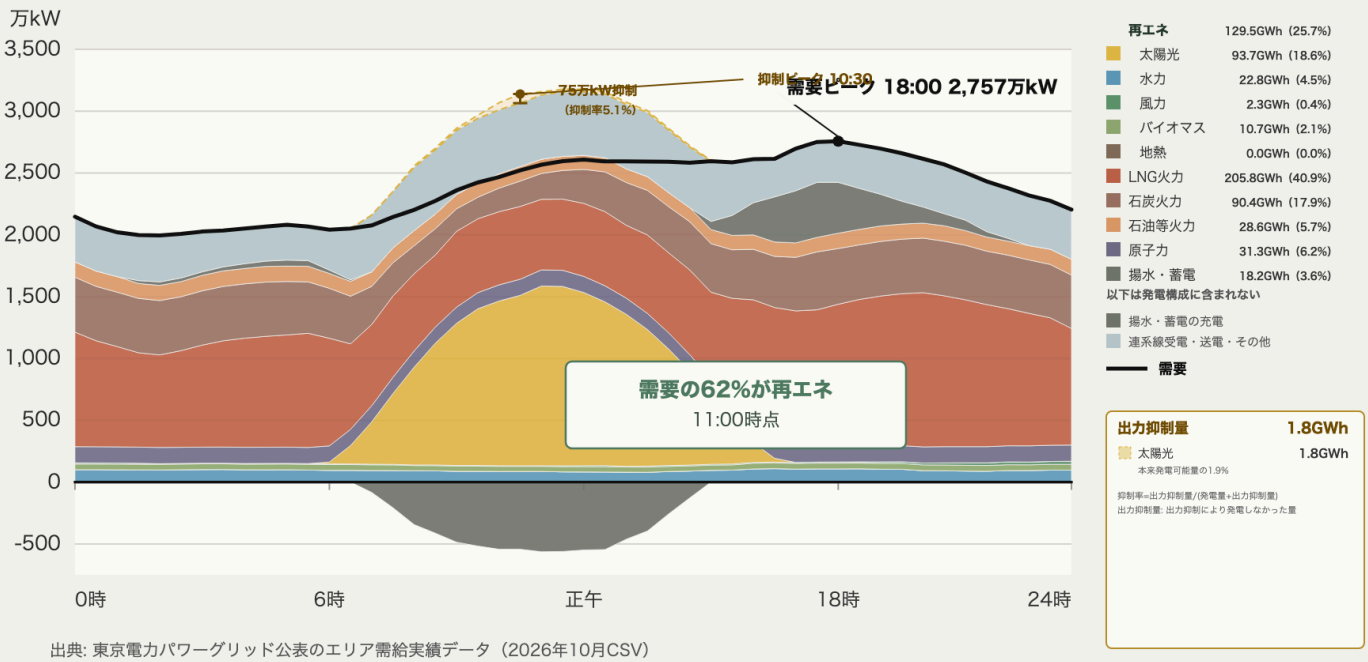
東北は、太陽光ピーク739万kW、風力ピーク88万kWで、時間別の再エネ最大需要比は118.5%だった。

2026年10月18日の供給実績

東京エリア

再エネ
129.5GWh
（発電電力量ベース25.7%）

東京エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
503.8GWh

需要ピーク
18:00、2,757万kW

連系線・その他
98.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
33.0GWh

出力抑制
1.8GWh

概況

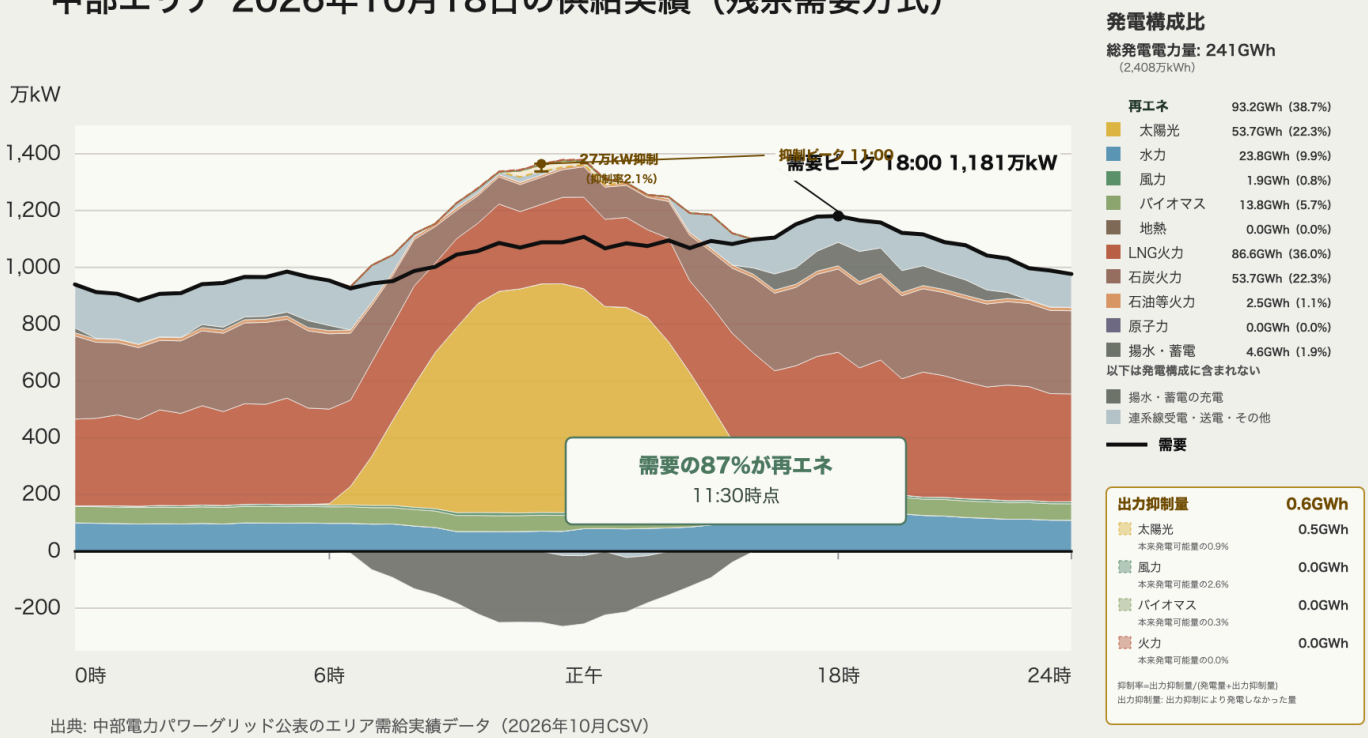
東京は、太陽光ピーク1,453万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.8%だった。

2026年10月18日の供給実績

中部エリア

再エネ
93.2GWh
（発電電力量ベース38.7%）

中部エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
240.8GWh

需要ピーク
18:00、1,181万kW

連系線・その他
22.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.3GWh

出力抑制
0.6GWh

概況

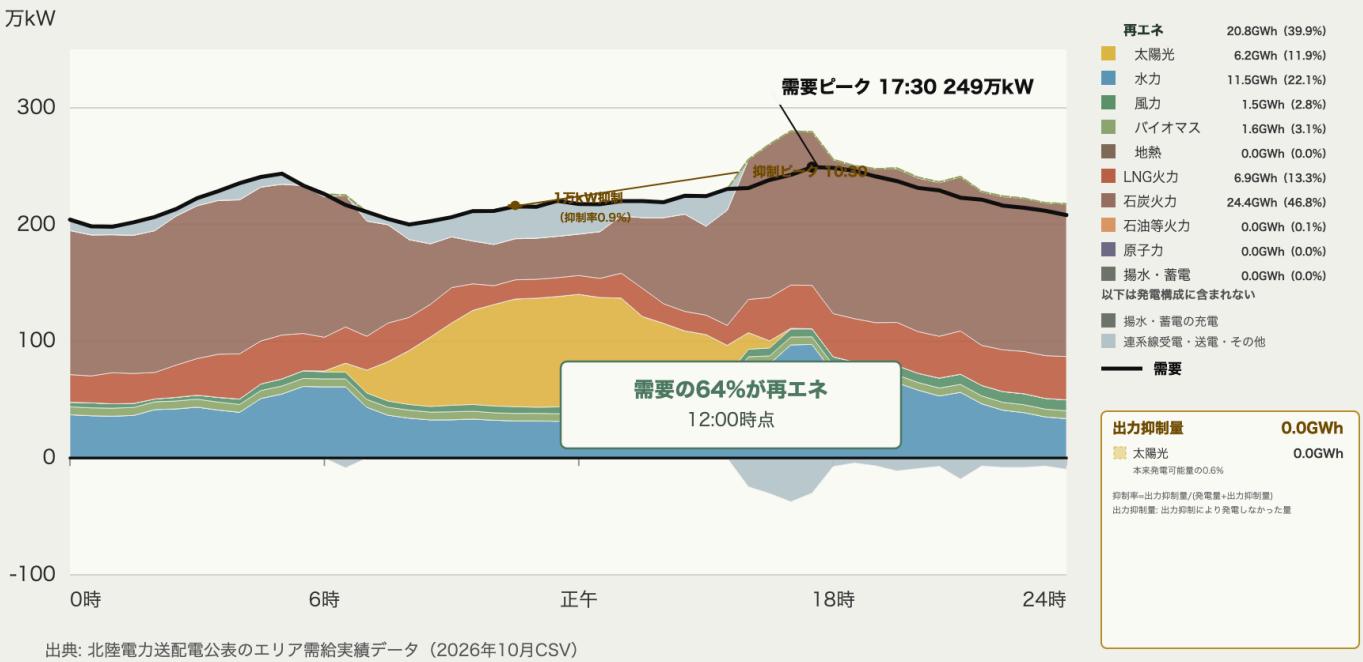
中部は、太陽光ピーク806万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.6%だった。

2026年10月18日の供給実績

北陸エリア

再エネ
20.8GWh
（発電電力量ベース39.9%）

北陸エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
52.1GWh

需要ピーク
17:30、249万kW

連系線・その他
2.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

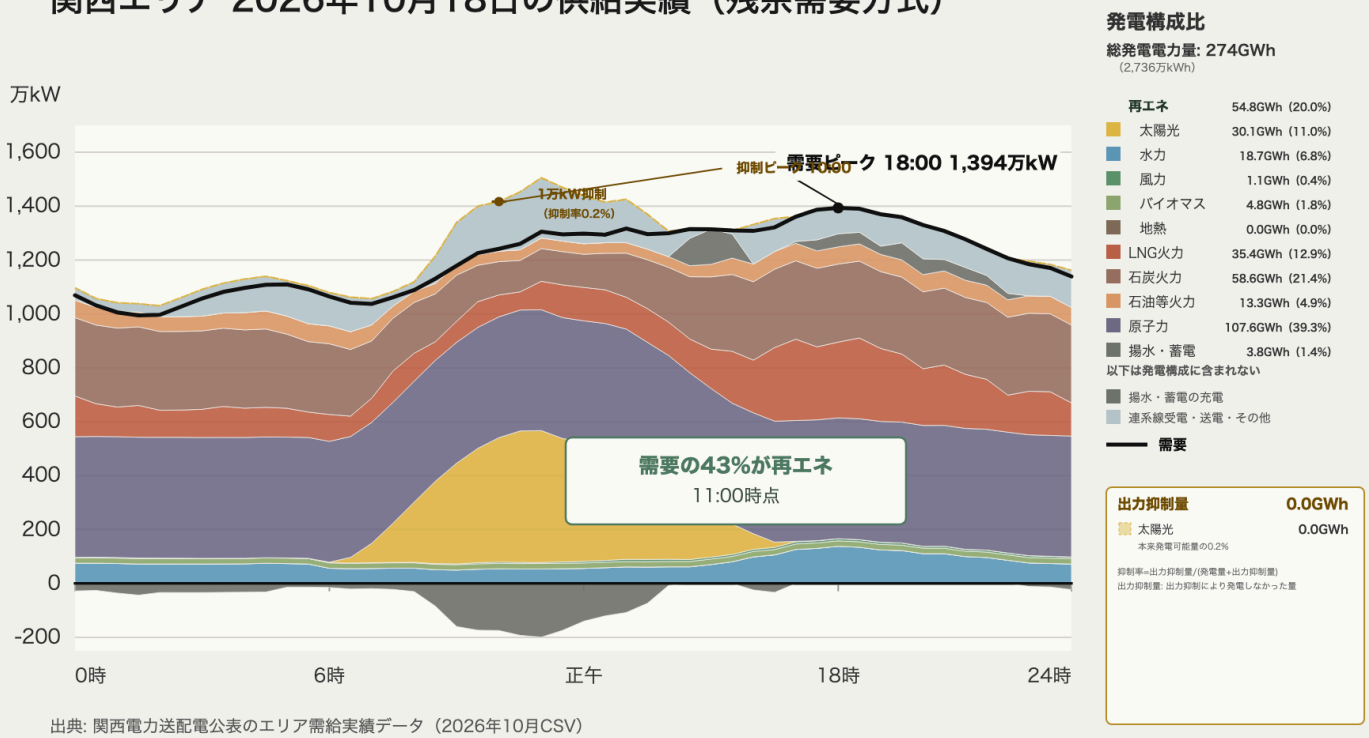
北陸は、太陽光ピーク95万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.4%だった。

2026年10月18日の供給実績

関西エリア

再エネ
54.8GWh
（発電電力量ベース20.0%）

関西エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
273.6GWh

需要ピーク
18:00、1,394万kW

連系線・その他
26.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
10.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

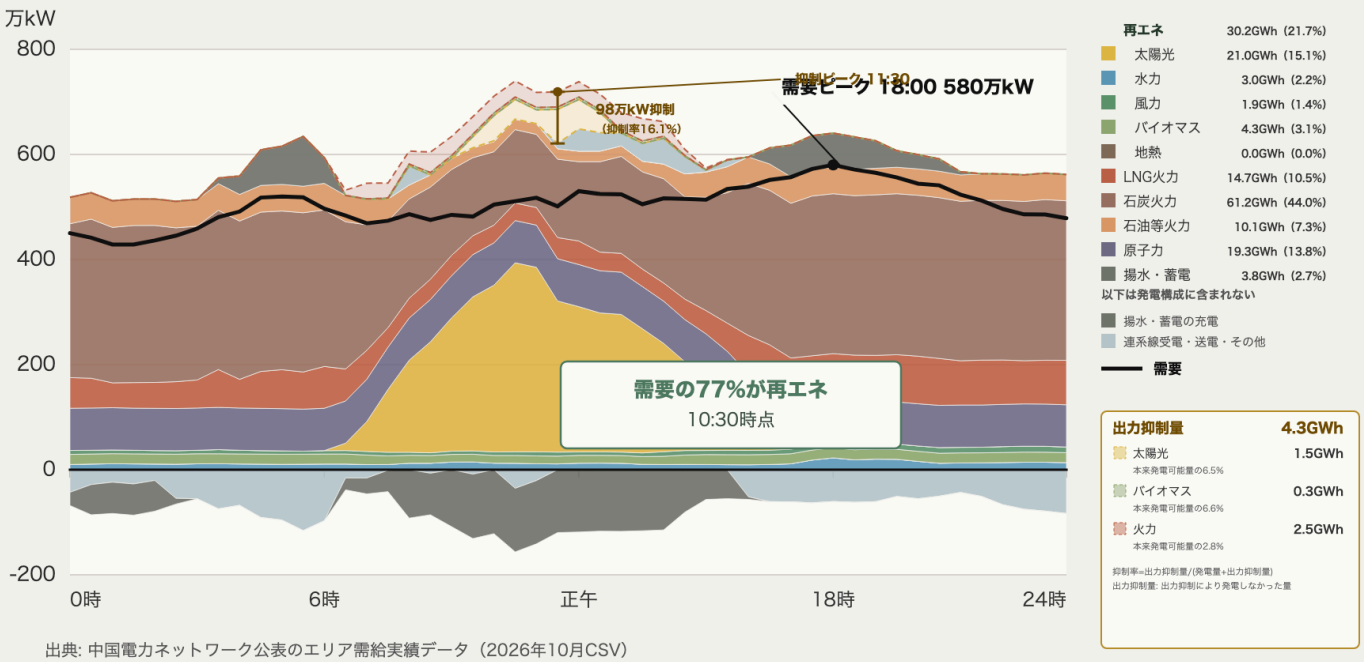
関西は、太陽光ピーク489万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.9%だった。

2026年10月18日の供給実績

中国エリア

再エネ
30.2GWh
（発電電力量ベース21.7%）

中国エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
139.2GWh

需要ピーク
18:00、580万kW

連系線・その他
9.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
10.1GWh

出力抑制
4.3GWh

概況

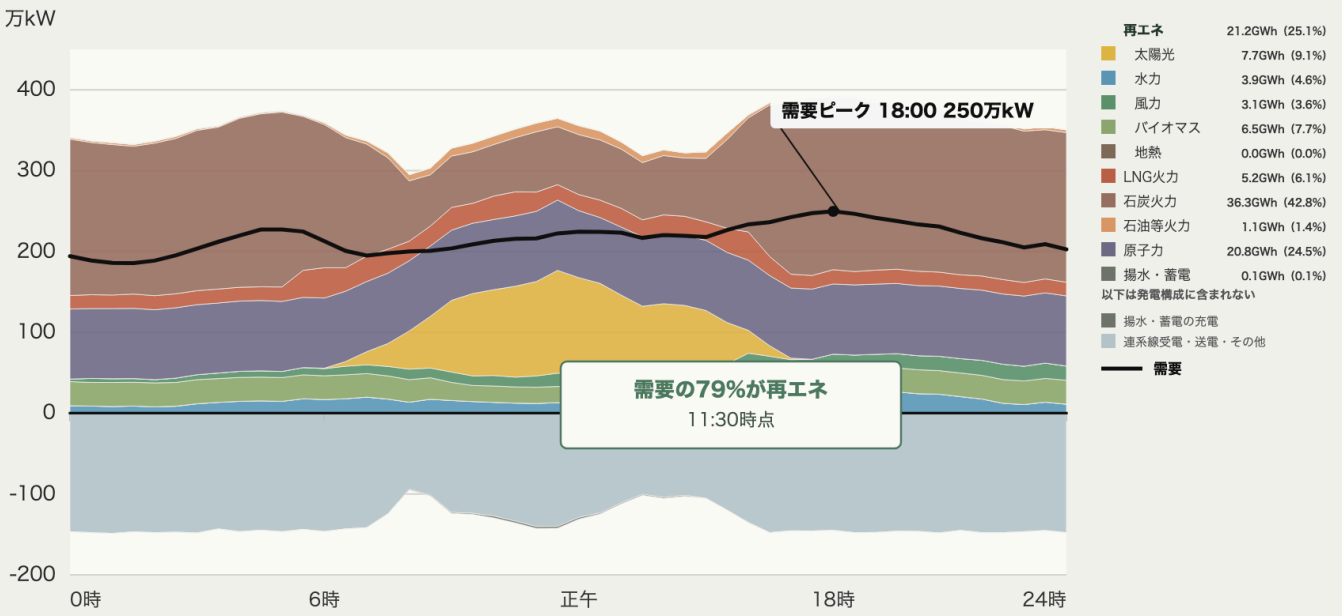
中国は、太陽光ピーク360万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は77.1%だった。

2026年10月18日の供給実績

四国エリア

再エネ
21.2GWh
（発電電力量ベース25.1%）

四国エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
84.6GWh

需要ピーク
18:00、250万kW

連系線・その他
32.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

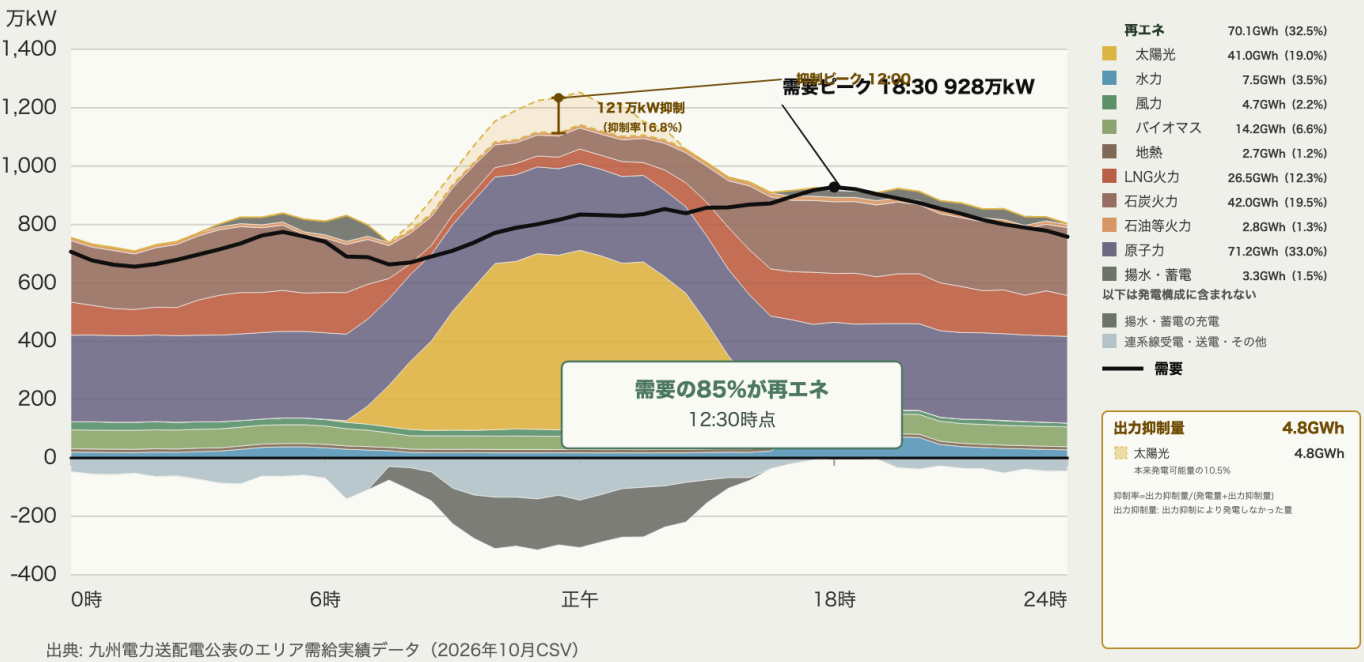
四国は、太陽光ピーク127万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.4%だった。

2026年10月18日の供給実績

九州エリア

再エネ
70.1GWh
（発電電力量ベース32.5%）

九州エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
216.0GWh

需要ピーク
18:30、928万kW

連系線・その他
16.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.2GWh

出力抑制
4.8GWh

概況

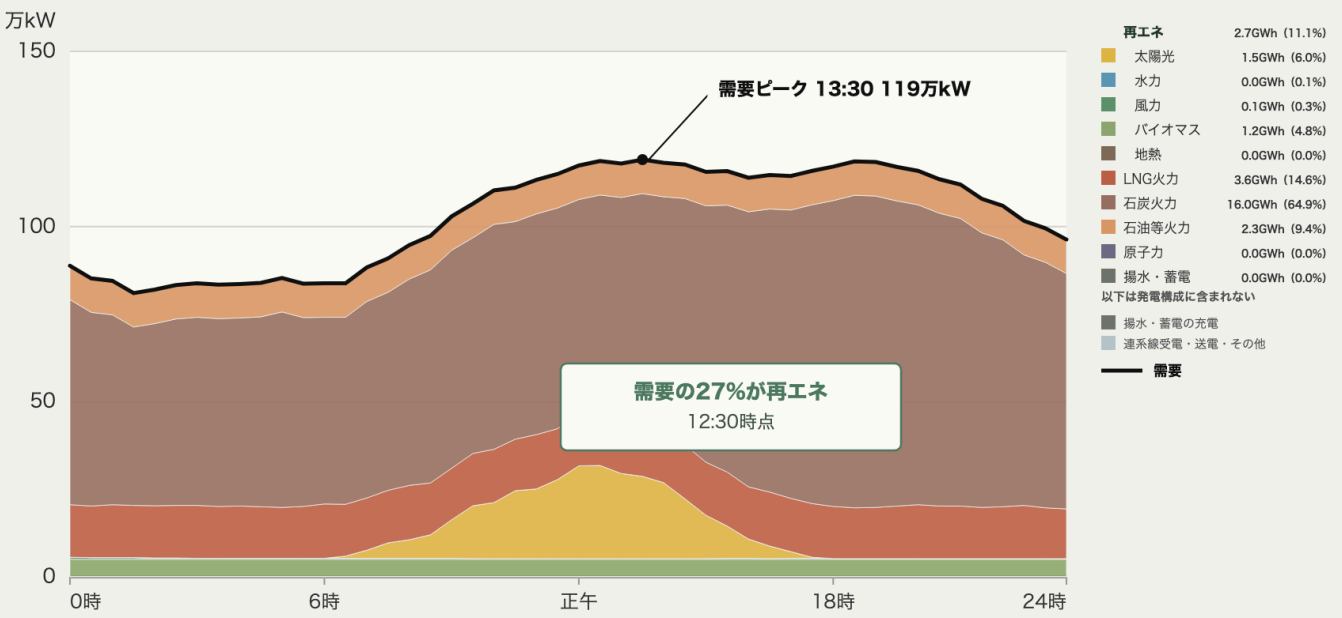
九州は、太陽光ピーク615万kW、風力ピーク29万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.5%だった。

2026年10月18日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.7GWh
（発電電力量ベース11.1%）

沖縄エリア 2026年10月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.6GWh

需要ピーク
13:30、119万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.0%だった。